

# トマトの育て方



## ● 作り方のポイント

- ① トマトの含むリコピンは若々しい身体を維持できると言われています。
- ② ナス科植物(トマト・ナス・ピーマン・ジャガイモなど)は連作を嫌うので、4~5年ナス科植物を栽培していない場所を選びます。
- ③ 日当たりの良い場所を好みます。
- ④ 比較的病害虫が発生しやすい植物です。梅雨時から夏にかけて疫病やび病に注意しましょう。
- ⑤ 接木苗が比較的育てやすいでしょう。

## ● 栽培カレンダー

月	● 種まき期 ● 植えつけ期 ● 収穫期											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
暖地・中間地			■	■	■	■	■	■				
高冷地・東北			■	■	■	■	■	■	■			
北海道				■	■	■	■	■	■	■		

## 1 植え付け準備

植え付けの1~2週間前、畝(うね)をつくる。畝幅を広く取って1m畝に1列に植えるか1.8m畝に2列に植える。

1㎡あたり堆肥2kg、苦土石灰200gを混ぜ込む。トマトの根は深く張るので、深く耕す。

**元肥**  
1株当たり60gを土に混ぜ込む。

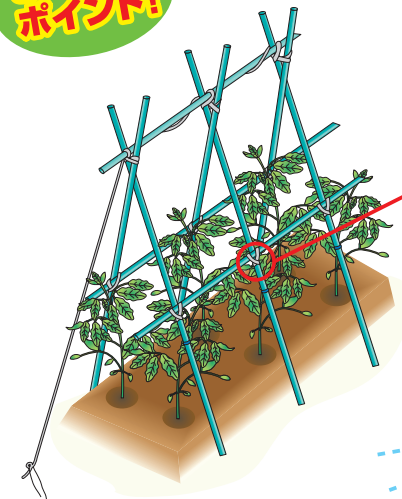
苗を植え穴において周りの土を寄せるように植え、仮支柱を立てて苗が倒れないように軽く縛る。

8の字になるように誘引する

## 2 支柱たて、わき芽つみ

**ここがポイント!**

本葉9枚、草丈40cmぐらになると本支柱を立てる。



8の字形になるように誘引する

**植物に活力を!**  
無農薬栽培を応援します!

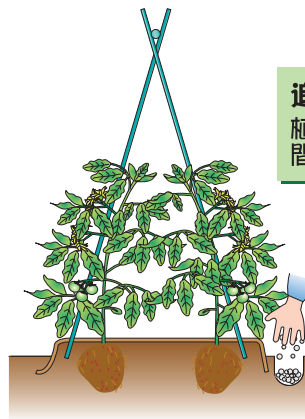
葉のつけ根から出るわき芽は全部摘み取って主枝1本を伸ばす。

葉のつけ根ごとにわき芽が出るため、小さいうちに手で摘み取る。

## 3 追肥、主枝の摘心

8月中旬に収穫を終わらせるには、7月上~中旬に主枝を摘心する。摘心は、最後の収穫予定の花房の上の2~3枚の葉を残してその先を摘み取る。収穫は、開花してから40~50日ぐらいた熟度に応じて行う。収穫の最盛期は株の負担が大きいので、水切れに注意する。

**追肥**  
植え付け後約30日間隔で40g与える



摘心

(主枝)  
まんなかの枝

第一果房

